

# 令和4年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 白銀 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

#### (1) 教科に関する調査(国語、数学、理科)

教科に関する調査(国語、数学、理科)
①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

#### (2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査
○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※本校3年生は、単学級ですので、個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

### 3. 教科に関する調査結果の概要

#### (1) 全国・本市の学力調査(国語、数学、理科)の結果

本年度の結果	国語		数学		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	6.6	47	9.8	47
全国	9.7	69	7.2	51	10.4	49

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	全体的に全国平均を下回っているが、特に記述式の問題において、読み取った内容や自身の考えを表現する力が不足している。
	よくできた問題	我が国の伝統文化に関する事項について、行書の特徴や書き方についての問題
	努力が必要な問題	自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫して話す問題

数学	全体的な傾向や特徴など	全体的に全国平均を下回っていて、特に、様々な事象を論理的に捉え、数学的な表現を用いて説明する力が不足している生徒が多い。
	よくできた問題	多数の観察や試行によって得られる確率の意味を答える問題
	努力が必要な問題	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を筋道を立てて説明する問題

理科	全体的な傾向や特徴など	物理分野「粒子領域」の正答率が低い。思考・判断・表現の正答率は全国平均の正答率を上回っているが、知識・技能の正答率は全国平均を下回っている。
	よくできた問題	実験結果や資料を用いて推論した考察の妥当性について判断する問題や関連付けて説明する問題
	努力が必要な問題	知識・技能を活用する問題や化学反応式や図を用いて表す問題

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「朝食を必ず取る」、「朝決まった時間に起きる」と答えた生徒が全国を下回った。「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、約束したことを守れていない」生徒が多い。</li> <li>・「自分には良いところがある」、「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と答えた生徒が全国平均を大きく上回った。半面、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」、「最後までやり遂げるようにしている」と回答した生徒が全国平均を下回った。</li> <li>・「自分と違う意見について考えるのは楽しい」、「友達と協力するのは楽しい」と回答した生徒が全国平均を下回った。</li> <li>・キャリア教育を軸とした、将来の夢や目標をもたせ、それらを行動に結びつけさせることが必要である。</li> </ul>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業においては教え合いや学び合いを継続し、自分の考えを深めたり、広げたりできるように工夫している。さらに対人スキルアップ指導を積極的に行っていく。</li> <li>・ICT機器を活用し、ドリルアプリを朝自習や授業などに利用することで、個に応じた課題解決の取組を継続していく。</li> <li>・諸行事においては、生徒が企画や運営に携わり、主体的に取り組む態度の育成を継続していく。</li> </ul>
---

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校独自の「自学ノート」を全校で実施し、生徒が継続的に家庭学習に取り組めるように工夫している。今後も継続して行い、効果的な家庭学習の取り組みを実施する。</li> <li>・基本的な生活習慣について、家庭へ啓発を行う。外部講師を招聘し、規範教育なども継続実施していく。</li> </ul>
---